



日大三高は、スリーポイントシュートを多く打っていたし、決めていました。本校がディフェンスで固めていても遠くからのシュートを見事に決めていました。また、チーム全体的にリバウンドを多く取るチームでした。飛び込みリバウンドを得意としていました。

本校は、最初からディフェンスを粘り強くできていました。グットディフェンスをしている場面が多く、相手の24秒計が10秒以下になっている場面が多く、相手のシュートチャンスを奪っていくことができました。練習で取り組んでいる三戦のヘルプもとても活躍していました。また、ディフェンスリバウンドで相手に取られないようにボックスアウトを意識できていました。

ですが、オフENSリバウンドに飛び込めていなくて、相手チームに取られるという場面が多かったです。オフENSでも全体的に消極的になっているときがありました。パス回しが遅かったり、うまくコミュニケーションが取れていなかったためローテが上手くいかなかったりしていました。本校がスティールをして1人が走って、ゴールへ向かう時に周りの戻りが遅く、ディフェンスの戻りが速かったので、ダブルチームなどを組まれてシュートチャンスを失ってしまうことが多かったです。ディフェンスの一線が簡単に縦に抜かれてしまうことが多かったです。また、相手へのスリーポイントシュートの警戒が甘かったです。ディフェンスで止めても遠くから打ってきて、高いシュート率を決めていました。相手の方がシュート確率が高かったです。

今回は、リバウンドが課題となっています。オフENSリバウンドでの飛び込みリバウンドが日大三高のすごいところだったので、そこを身につけられたらとても良くなると思います。ディフェンスはとても良くできていました。練習で行っている三戦のヘルプが活躍できていてとてもよかったです。

